

横浜市会議員（自由民主党）

平成31年 新年号

山本たかし

**誠実に 未来に
実行 責任**

自由民主党横浜市会議員団
〒231-0017
横浜市中区港町1-1
TEL 045-671-3010
FAX 045-681-1530
山本たかし事務所
〒235-0007
横浜市磯子区西町3-15
TEL 045-349-2107
FAX 045-349-2108



政務調査ニュース



津南プロジェクト



いそご元気放送局



新しい年を迎え、皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、横浜市会では第1回定例会が1月28日から開会されます。人口減少社会を迎える横浜市で誰もが元気で安心そして魅力あふれるくらしを実現するため新年度の予算を決める議会です。

そこで、定例会の様子を市民の皆様にお伝えするとともに、皆様と一緒に横浜のまちづくりをすすめていきたいと考え、街頭演説会と春の市政報告会を実施します。

2019 年 新春 横浜市会議員 山本たかし



◆街頭演説会◆

(午後1時～午後3時) (小雨決行)

- | | |
|----------------|----------------|
| 2月3日(日) 磯子駅 | 2月9日(日) 根岸駅 |
| 2月11日(月祝) 洋光台駅 | 2月17日(日) 新杉田駅 |
| 2月24日(日) ラビスタ前 | 3月3日(日) プララ杉田前 |
| 3月10日(日) 洋光台駅 | 3月17日(日) ラビスタ前 |

◆春の市政報告会◆

ー明日の横浜を創る！予算議会を終えてー**2019年3月20日(水) 杉田劇場 4階ホール****時 間** 午後7時～午後8時 開場午後6時30分**参加費** 無料 ご自由にご参加ください

横浜の未来。「地域が主役」の演説会

今年、横浜は開港160年を迎えました。横浜の歴史は、まさに「ピンチをチャンスに変えてきた歴史」でした。1859年(安政6年)の横浜開港、鉄道開通、1923年(大正12年)関東大震災、1935年(昭和10年)横浜大博覧会、1945年(昭和20年5月29日)横浜大空襲、戦後占領軍による港湾施設の90%、市街地の27%の接收、1964年(昭和39年)根岸線(桜木町~磯子)開通、東京オリンピック、人口爆発、1970年(昭和45年)根岸線(磯子~洋光台)開通、1973年(昭和48年)根岸線(洋光台~大船)全線開通、横浜の発展を創った6大事業(みなとみらい21造成、高速道路、高速鉄道、金沢地先埋立事業、ベイブリッジ、港北ニュータウン)、1978年(昭和53年)横浜スタジアム、1982年(昭和57年)第1回アジア太平洋都市会議開催、1989年(平成元年)横浜博覧会、2002年(平成14年)日韓ワールドカップ2002などなど・・・そして、忘れてはならない2011年(平成23年)東日本大震災。

苦難(ピンチ)をバネに、横浜は都市の成長につなげてきました。その主役はまさに「市民力・地域力」でした。これからも、横浜には困難を克服する強い「市民力・地域力」があります。

さて、2月3日から始まる『街頭演説会』のテーマは、

『横浜の未来』です。「人口減少時代」の横浜の成長を考える！・・・

人口が増え続けてきた大都市横浜も、2019年人口のピークを迎え、人口減少時代に突入します。人口減少になって市民生活にどのような影響を及ぼすのか、課題は何か、私たちの暮らしはどう変わるのかなど、しっかりと備えをしていかねばなりません。人口減少時代に市民が向き合い、ピンチをチャンス(=成長)に変えていく。Change(変える) Challenge(挑戦する) Chance(機会)

そこで、いくつかのテーマで「横浜の未来」についてお話いたします。

- | | | |
|-------------|---------------|-----------------|
| 1. 高齢化の将来予測 | 2. 「地域包括ケア」 | 3. 横浜市の医療・介護・福祉 |
| 4. 横浜市の少子化 | 5. 子育て環境改善 | 6. 子どもの居場所づくり |
| 7. 横浜の教育環境 | 8. グローバル人材教育 | 9. 横浜市の財政状況 |
| 10. 防災・減災対策 | 11. 特別自治市 | 12. 経済の成長力 |
| 13. 横浜港の魅力 | 14. 観光・MICE | 15. 脱炭素化 |
| 16. 緑の保全 | 17. Y-PORT 事業 | 18. 横浜農業(地産地消) |
| 19. 健康横浜21 | 20. いそごの元気力 | 21. その他 |



皆様からも、街頭演説会でのテーマがあれば、
ご意見ご要望をお待ち申し上げます。

FAX 045-349-2108

Mail isogo@yamamoto-takashi.jp

横浜市会議員（自由民主党）

新年号

山本たかし

誠実に 未来に
実行 責任

自由民主党横浜市会議員団
〒231-0017
横浜市中区港町1-1
TEL 045-671-3010
FAX 045-681-1530
山本たかし事務所
〒235-0007
横浜市磯子区西町3-15
TEL 045-349-2107
FAX 045-349-2108

政務調査ニュース

津南プロジェクト

いそご元気放送局



SDGsは、未来都市横浜の台言葉！ 世界の国、都市がSDGsをめざす！！

SDGsとは「Sustainable Development Goal(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年～2030年15年間で達成するために掲げた目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。



横浜市は、SDGs未来都市に選定されました。

「SDGs未来都市」とは、持続可能な都市・地域づくりを目指す自治体を選定し政府として予算もつけてサポートしていこうという取組です。特徴的なものが、その取組を「経済」「環境」「社会」の3つの観点から持続可能性をみているところです。SDGs未来都市には神奈川県からは、神奈川県、鎌倉市とともに横浜市が選ばれました。

横浜市では、環境創造局が中心となって「SDGsデザインセンター」を設立していますが、新たな都市経営のチャンスとして、全庁挙げた事業の推進が重要です。

SDGs 目標に向けた私の「責任と約束」

3 すべての人に健康と福祉を



- ・健康診断の受診呼びかけ、がん検診の受診率50%達成します。
- ・横浜市歯科口腔保健条例の制定とオーラルフレイルを減少させます。
- ・横浜市市民受動喫煙防止条例の制定とクリーン横浜を実現します。
- ・外国人材の活用による介護人材を確保し、安心の「地域包括ケアシステム」を実現します。

4 質の高い教育を
みんなに



- ・グループホーム拡充や障害者住宅セーフティネットの充実を図ります。
- ・学校におけるプログラミング教育を充実させ、子どもたちのICT活用力を向上させます。
- ・発達障害のある子供、若者への支援をします。
- ・ひきこもりなどの困難を抱える若者の就労など社会参加を支援します。
- ・廃止された教育文化センターに代わる新たなセンター建設の実現します。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



- ・シングルマザーを含め女性が働きやすい環境を整え、日本一女性が働きやすい都市横浜を目指します。
- ・F-SUSよこはまを中心に、女性のスタートアップ、起業家を支援します。
- ・女性が安心して社会の中で活躍できるように、保育サービスの拡充を図るとともに、負担軽減に向け取り組みます。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



- ・世界を牽引する脱炭素社会に向け、「ゼロカーボン横浜」をすすめます。
- ・プラグインハイブリッドを含む電気自動車(EV)と水素燃料電池車(FCV)の市内普及台数を現在の2倍にします。
- ・RE100などの民間イニシアチブを支援し、再生可能エネルギーの創出、導入、利用拡大を現在の2倍にします。
- ・県産木材をはじめ、国産木材を公共建築に積極的に採用、日本の樹林地を守ります。

8 働きがいも
経済成長も



- ・国際園芸博覧会(花博)の招致と世界水準の花と緑のまちを創ります。
- ・MICE施設の創設と活用で経済波及効果1000億円を実現します。
- ・独立開業する若者を増やすためのスタートアップ起業家を支援します。
- ・中小企業の事業継承をすすめ、経営基盤の強化を図ります。
- ・地域貢献企業認証制度取得1000社を目指します。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



- ・官民データ活用推進基本条例に基づき、AI、IoT、ドローン等のICTを活用した社会実証プロジェクトを行います。
- ・第7回アフリカ開発会議を契機に、新たなY-PORT事業を創ります。
- ・横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)をスタートアップ企業のインキュベーター、アクセラレーターとしての体制・機能を強化します。
- ・ニューヨーク海外事務所開設を機に、新たな産業、技術の投資喚起を促すプロモーションセールスをすすめます。

11 住み続けられる
まちづくりを



- ・高齢者の市民の足を確保するために、コミュニティバスを拡充します。
- ・建築物の耐震化、がけ地対策、狭あい道路拡幅、道路の無電柱化、木造密集地域の延焼防止等、災害に強い強靱なまちづくりをすすめます。
- ・防災防犯対策として空き家の減少に取り組み、地域の活性化を目指します。
- ・郊外部のまちの再生をすすめ、元気で活力ある地域社会を創ります。
- ・地域消防力強化に向け、消防団員の100%充足と消防資機材の充実に取り組みます。

14 海の豊かさを
守ろう



- ・海洋都市横浜として、マイクロプラスチックや廃プラスチックの削減に向け原因、プロセス、削減策など海洋汚染問題の解決に取り組みます。
- ・海洋文化、海洋芸術分野のMICE振興と拠点誘致に取り組みます。
- ・堀割川や根岸湾の浄化と水際ゾーンの形成により市民の集いのエリアを創ります。

超高齢社会の「認知症予防と治療」について



yamachan's
voice

団塊の世代の方々が後期高齢者(75歳以上)となる2025年、65歳以上の高齢者が100万人に迫り、75歳以上の後期高齢者は60万人にと推計されています。磯子区の高齢化率も26.3%、旭区、栄区に次ぐ高齢化率の高い街です。今、最も大きな課題に「認知症対策予防」が挙げられます。認知症初期集中支援チームの全区配置や認知症ケアパス、認知症サポーター・キャラバン事業等、大都市横浜がさまざまな取組をすすめていますが質量ともに不足しがちです。特に、認知症疾患医療センターは市内4か所しかなく、加えて認知症サポート医の体制も十分ではありません。「予防」と「治療」の両面での抜本的な施策検討が不可欠です。単身高齢者が増え続ける将来を考えるとまさに「待ったなしの施策の実行」が求められます。